



【先週 1月20日～1月26日の外食の出来事】

■2018年の訪日外客数は初の3千万人超え、過去最多の3119万2千人

年間の訪日外客数は、初の3千万人超えとなる3119万2千人とJNTOが統計を取り始めた1964年以降で最多。市場別では、中国が838万人となり全市場で初めて800万人台に達したほか、タイが113万人となった。

■「ブロンコビリー」、ステーキ競争激化での営業利益率11%の凄さ。リピート客作りが鍵

株式会社ブロンコビリーの2018年12月通期決算は売上高224億32百万円、13.5%増。営業利益25億97百万円、6.2%増。経常利益26億69百万円、6.1%増。純利益17億87百万円、2.4%増。増収増益となった。

■ジェイグループ、好調な「博多かわ屋」FC出店を加速。21年にはFC80店舗目標。

株式会社ジェイグループホールディングスは、好調な鶏かわ焼き専門店「博多かわ屋」のFC展開を加速し、2021年2月末までにFC80店舗を目標とする。今年3月にもFCで大阪、京都、広島で3店舗を出店する予定。

■新潟の回転寿司チェーン、倒産。大手との競争に負ける。

「ごちそう回転寿司栄助」を展開する株式会社創栄が15日、事業を停止した。負債総額は約8億円。「ごちそう回転寿司栄助」は、ピーク時の2002年10月期には35店を出店し、約43億9000万円の売上高を計上した。

■鳥良、磯丸水産のSFP、熊本の居酒屋チェーン買収。

SFPホールディングス株式会社が、熊本県にて居酒屋「前川水軍」等を展開している株式会社ジョー・スマイル(本社:熊本市中央区、代表取締役:前川 浩幸)の全株式を取得し、子会社化すると発表した。

■「まいどおおきに食堂」フジオフード、東証1部に昇格。

「まいどおおきに食堂」などを展開する株式会社フジオフードシステムが、株式会社東京証券取引所の承認を受け、2019年1月30日付けで、東京証券取引所JASDAQから同取引所市場第一部へ市場変更することとなった。

■プレナス、第3四半期(平成30年3月～11月)の連結業績 増収減益

プレナスの平成31年2月期 第3四半期の連結業績は売上高1156億900万円(対前年同期比5.6%増)、経常利益4億8300万円(同89.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失4億1600万円(-)であった。

■柿安本店、第3四半期(H30年3月～11月)の業績

柿安本店の平成31年2月期 第3四半期の業績は売上高319億100万円(対前年同期比-)、営業利益12億5400万円(-)、経常利益13億600万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億5800万円(-)であった。

■スシロー、シンガポール出店決めた 調査子会社を大幅増資

スシローが、シンガポールにおける子会社であるSUSHIRO GH SINGAPORE PTE.LTD.が増資を行う。資本金10万シンガポールドルから、1月31日の増資により375万6千シンガポールドル(約308百万円)に引き上げる。